

授業改善推進プラン 算 数〔小学校第4～6学年〕

昭島市立拝島第一小学校

学年等	項目	内 容
令和4年度 第4学年	学習に関する児童の実態・課題	○単純な計算処理は、反復練習を積み重ねることで、できるようになる児童は多い。 ▲問題解決の場面で、自分で考えそれを表現することができる児童が非常に少ない。 友達の考えを聞いて理解を深めたり、教科書に掲載されている解法を読み取ったりすることも苦手で、思考力・表現力に課題があることが分かる。
	教科で身に付けさせたい資質・能力	・自分で考えたことを適切に表現し、伝える力 ・題意を正しく読み取り、論理立てて考え、適切に処理する力 ・必要な数値を取捨選択する力
	具体的な授業改善の方策	・線分図、テープ図など、考えたことを表現するための方法を掲示しておき、適宜確認できるようにしておく。
	第4学年における児童の達成度と第5学年に向けての課題	○互いに教え合い、課題を解決して表現しようとする力が身に付いた。 ▲学習の定着が不十分なため、既習事項を活かして課題を解決することに課題がある。題意を正しく読み取り、正しい情報を精査する力が課題である。
令和5年度 第5学年	学習に関する児童の実態・課題	○粘り強く課題に取り組むことができる。 ○5月に行った算数到達度調査では、小数の仕組みの問題に関しては、80%を超える正答率だった。また、変わり方調べの問題に関しても70%の正答率を出すことができた。 ▲題意を理解し、立式することが難しい児童がいる。 ▲筆算の足し算や引き算、かけ算やわり算など、基本的な四則計算が身に付いていない児童がいる。 ▲様々な解法を導き出すことが難しい。
	教科で身に付けさせたい資質・能力	・足し算や引き算、かけ算やわり算などの基本的な四則計算を正確に行う力 ・数直線や表を活用し数量関係を捉える力 ・既習事項を活用し、問題解決に向けて粘り強く考える力
	具体的な授業改善の方策	・問題場面を数直線や表に表し、立式しやすくする。 ・学習の最後に、練習問題を解く時間を設け、基礎学力の向上を図る。 ・複数の教材を準備し、それぞれの児童に合った類題や応用問題を選択させるようにする。 ・どの単元の授業の導入でも既習事項を振り返り、既習事項と本時の学習とつなげる。 ・可能な限りペア学習やグループ学習を行い、根拠をもって自分の考えを伝え合う機会を設ける。
	第5学年における児童の達成度と第6学年に向けての課題	
令和6年度 第6学年	学習に関する児童の実態・課題	
	教科で身に付けさせたい資質・能力	
	具体的な授業改善の方策	
	小学校6年間のまとめと中学校への引継事項	

斤

々